



# 新潟県医労連女性部ニュース

TEL/025-224-5951 FAX/025-224-8072 Email/irourenn@topaz.ocn.ne.jp



**いのちを守る 私たちだから  
いのち奪う 戦争に反対**

## ～ 白衣の平和行動 ～ を実施しました

新潟県医労連女性部では、7月16日に6単組36名の参加で白衣の平和行動を行いました。

カンボジア難民支援など世界の紛争地域で支援活動を続けてきた羽賀さんは、国際問題は武力では解決できない。外交することが最も良いとし、「日本には武力によらない平和憲法に基づく国際支援こそが求められる」とお話をされました。これまで積み上げてきた、人が人を理解して繋がることで作り上げてきた太い柱を今の政権が蹴散らそうとしていること、憲法は国家の暴走を止める法律なのに国民を取り締まる法律に変えようとしていることなどを危惧しました。

平和についての学習会



「覇権主義と平和～共生の視点から平和を考える」  
長岡市国際交流センター羽賀友信センター長



学習会の後半では、アフガニスタンで生活する女性と子どもたちの写真を見せてもらい社会的地位の低さや貧困の厳しさといった問題に衝撃を受けました。戦争の終わりが平和というわけではなく、治安の回復や、我々、相手も豊かでフェアな生き方ができる、安心が根幹にある社会作りが大事であると強調されました。本当の意味での平和とは何かを考えて行動していかなければならないと改めて考えさせられる学習会でした。

### 白衣の平和行動とは・・・?

第二次世界大戦が終了し原爆がおとされた夏に、平和と核兵器廃絶を訴え、女性部が中心になり、1983年から今日まで毎年行っている行動です。女性で唯一戦場に赴いた職業である「従軍看護婦」の悲劇を二度と繰り返さない。という誓いを胸に、世論にアピールしてきました。行動の前には必ず平和についての学習会を行っており、労働組合が平和について考える良い機会となっています。



学習会後は古町十字路にて街頭宣伝。女性部役員を中心に従軍看護婦の服装をし、皆そろいの緑のスカーフを身につけ、「憲法を守り、日本を戦争できる国にするな」「憲法をいかし、格差と貧困を解消しよう」などと呼びかけ、「かがやけ憲法」国会請願署名を142筆集約しました。また今年初めての試みとして憲法9条改定をどう思うか、安全保障関連法案に賛成？反対？といった街頭シール投票を行いました。偶然にもこの日は国会で審議されている安全保障関連法案が衆議院本会議で強行採決された日となり、市民の皆さんも関心が高まっているように感じました。



県医労連女性部は、今後も従軍看護婦をされていた方や、戦争経験者の方の貴重なお話を聞くなどの機会を設け、勉強し行動していきたいと思えます。



みんなで集合写真！暑い中がんばりました！

### ＜シール投票結果＞

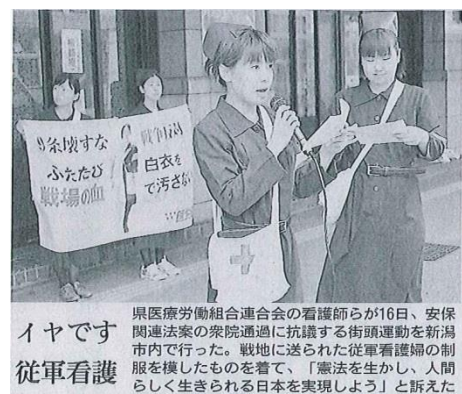
「憲法9条」改定したほうが良いと思いますか？		
今のままで良い	わからない	変えたほうが良い
46	7	1

「安全保障法案」賛成？反対？		
賛成	わからない	反対
2	12	67

当日は、新潟日报社、朝日新聞社からの取材を受けました。翌日の新聞を紹介します。



2015.7.19  
新潟日報



2015.7.19  
朝日新聞